

個別研修（村島千文）

施設名：アートスクール フィンランド・ポルポー市

美しい歴史のある街。建築的な景観は大切に守られたまま室内はたくさんの活動に合わせた教室になっているアートスクール。学童期の子どもが集い、自分の造りたいものに向き合う時間を充実させているだけでなく、外遊びも楽しい空間になっていた。

市が運営している。子どもの自主的な活動に合わせたアートスクール。



外庭にはシベリウスの歌曲の歌詞を多く手掛けた詩人ルーネベリの描かれた小屋が。



セルフポートレイトをテーマにした大作に絵の具の色を相談する様子。



どの部屋もアトリエになっている。子ども達の作品が飾られていた。



様々な種類の絵の具や画材が棚に並び、積極的に多色を楽しむように見える位置に。



時間割によっては、ピアノのレッスンやクラフト・セラミックの活動もある。



施設名：ポルポー市のアートスクールにて

どの教室にも子どもの作品が並び明るく楽しい印象が伝わってくる空間。子ども達は自由に教室を移動して回り各部屋には先生が見守っている。午後にはおやつが用意されていた。

絵の具の鮮やかな色使いが楽しめて、大作に関われる十分な広さがある。

日本人のデザイナーさんで先生もされている方や中国からもアート教育を学びに来ている方も一緒に。



使い勝手がよく子どもの高さになっている。洗い場や至る所に子どもの作品が展示してある。



階段や壁には子どもたちが楽しんだ作品が飾られ卒業生も関わるプロジェクトがある。



セルフポートレイトをテーマにセラミックの活動や大きなシートに描いて制作。



広い教室を更に広く見せるように鏡が壁についている。子どもの多様性を受け入れる空間。

